

2025 年度

尚綱学院高等学校
入学試験問題

国 語

試験時間 (50分)

注 意 事 項

1. 「始め」の合図があるまで問題の表紙を開かないでください。
2. 解答用紙に4桁の受験番号を記入し、対応する番号をマークしてください。記入欄は裏面にもありますので、必ず記入してください。
3. マーク方式の解答欄は解答用紙の表面です。それぞれ指定されている番号の欄にマークしてください。
4. 記述方式の解答欄は解答用紙の裏面です。それぞれ決められた欄に記入してください。
5. 解答用紙は機械で読み込みますので、解答用紙の注意事項を正しく守ってください。訂正する場合は、消しゴムで丁寧に消してください。
6. 印刷が見えにくい場合は、手をあげて監督者の指示に従ってください。
7. 考査が終わったら、解答用紙と問題用紙を別々にしておいてください。
8. その他すべて、監督者の指示に従ってください。

受験番号

第一問 次の各問いに答えなさい。

問一 次の傍線部のカタカナを漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。解答は裏面の解答欄『第一問 問一(1)～(6)』に記述すること。解答番号は

号は ～

- (1) セイレンな人柄。
- (2) 目をコらしてよく見る。
- (3) 政治家の汚職がロテイする。
- (4) 働きすぎて健康を損ねる。
- (5) この地域は養蚕業が盛んだ。
- (6) ガイドラインを遵守する。

問二 次の傍線部と同じ働きのものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

解答番号は

- ・雲一つない晴れた空が広がっている。
- ① 勉強が終わったから寝よう。
 - ② かつて乗っていた車種だ。
 - ③ 明日はたしか休日だったね。
 - ④ 泥で汚れた衣服を洗う。

問三 次の に共通して入る語を一つ選び、その番号をマークしなさい。

解答番号は

- ・学者 ・泰 自若
- ① 的
 - ② 燃
 - ③ 然
 - ④ 風

問四 〈Aさん〉の中学校では、学校給食における食べ残しを減らすための取り組みをすべきだという声がありました。そこで、生徒たちは「食品ロス対策委員会」を発足させることにしました。次は、委員会での【話し合いの一部】と、学校だけの問題ではないと思った生徒が【外食産業の取り組み】についてまとめたものです。後の(1)～(5)の問いに答えなさい。

【話し合いの一部】

〈Aさん〉 給食に特定の料理や食材が出る日は、特に食べ残しが多いと感じます。

悪質な残し方をする人には、ペナルティを科してもいいと思います。

〈Bさん〉 食品ロスの問題は、学校でも深刻です。近年のデータだと、生徒一人あたり年間で十七・二キログラムが廃棄されているそうです。しかし、強制的なやり方はあまり賛同できません。

〈Cさん〉 数字で示されると大変さが分かりますね。本来食べられるのに捨ててしまうのはもったいないので、配膳の量を工夫するのも大事ですね。

〈Dさん〉 好き嫌いを克服したり、自分が食べる量を把握したりすることが大切ですね。食べ残しを減らすために、他にもできることはありませんか。

〈Aさん〉 では、メニューによる食べ具合の違いを調べて、よく食べられた料理だけを、給食で提供するようにしてはどうでしょうか。

〈Bさん〉 栄養バランスを維持できるようにしようか。それは少々難しそうです。

〈Cさん〉 完全食を目標に掲げるだけでは生徒の参加が難しいでしょう。例えば、完全食する回数が多かったクラスがメニューをリクエストできる権利を獲得できるというような、皆が参加したくなる企画はどうでしょうか。

〈Bさん〉 面白いですね。リクエストを踏まえた上でメニューを調理担当の方と決めれば、 の問題も起こらず、また、私たち生徒が主体性を持って取り組みそうです。それでもやはり完全食できない日があるかも……。

〈Dさん〉 ^A確かにまず完全食を目指すとしても、食べ残しが出た場合について検討

しないといけませんね。これについて何か意見はありますか。
(Aさん) 学校農園で肥料として使用したらいいと思います。

(Dさん) 堆肥化して再利用するのはいいですね。皆さんどう思いますか。

(Cさん) 他の中学校とも連携してはどうでしょうか。量が多ければ、堆肥だけでなく家畜などの飼料に利用できる可能性もありそうです。

(Dさん) そうですね。いろいろな案が出ましたが、自分たちができることからまずは実行していきたいと考えます。

(以下話し合いが続く)

【外食産業の取り組み】

食品ロスを削減するためのプロジェクトは、外食産業においても実施されている。例えば次のようなものがあるようだ。

- ・注文を受ける時に食材・調理法の相談や、人数・体調などによるボリューム調整の希望があれば明確に伝えてもらい、食べ残しゼロを目指す。
- ・食べ放題で一度にたくさん料理を皿にとると食べ残しにつながる。こまめに取ることで食べ残しをなくすよう呼びかける。
- ・食事後、きれいに完食した様子を写真に撮って会計時に提示した客に、次回利用できる割引券をプレゼントする。
- ・食べ残した料理を持ち帰ることができる容器を用意しておく。

家族で外食する際、食べきれず残すことが多々あった。今回店側の食品ロスに対する取り組みを知り、深く反省した。

(1) 空欄 X に入る言葉として最も適切なものを一つ選び、その番号を

マークしなさい。解答番号は 9

① 栄養のアンバランス ② 少数派の不公平感

③ 食べ残しによる食品ロス ④ リクエストの権利獲得

(2) 「完食を目指す」とあるが、そのために提案された意見として適当でないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 10

① 完食の対価としてメニューをリクエストできる権利を与えること。

② 目に余るような食べ残しをした場合は何らかの措置をとること。

③ 調理担当者の意見を積極的に取り入れてメニューを考えること。

④ 配膳してもらう時に完食できる量を考慮してよそってもらうこと。

(3) 「店側の食品ロスに対する取り組み」とあるが、【外食産業の取り組み】から読み取れる店側の思いとして最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 11

① 食べ残した料理を持ち帰るのを初めは恥ずかしいと感じるかもしれないが、一

勇気を出してほしいという思い。

② 客側にだけ一方的に要求をするのではなく、店と客が互いに協力して食品ロスを減らすべきだという思い。

③ 食事のボリュームを調整することは客の健康維持に役立つので、決してよろそかにしたくないという思い。

④ 優待企画はデメリットもあるが、食べ残しの削減に積極的に参加してもらうにはやむを得ないという思い。

(4) 【話し合いの一部】を読んで、それぞれの参加者についての説明として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **12**

① 〈Aさん〉は幾つかアイデアを提案しているが、全て否定されている。

② 〈Bさん〉は他人からの意見を受けて、問題点があれば指摘している。

③ 〈Cさん〉は司会者のような役割で、それぞれの意見に耳を傾けている。

④ 〈Dさん〉は本筋からそれていく会話の流れを、元に戻そうとしている。

(5) 【外食産業の取り組み】を読んで、学校給食の食品ロス対策にも共通する考え方として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は **13**

① 異業種同士が連携して、食べ残しを再利用することを推進すべきだということ。

② 完食できない場合は、ペナルティを科すなどの規則を厳格化すること。

③ 社会全体で食育を推進し、食品ロスとそれが及ぼす影響を周知すること。

④ 食べ残しをなくすには、各々が主体性を持って食に向き合う必要があるということ。

第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の都合上、本文は省略しています。

著作権の都合上，本文は省略しています。

著作権の都合上，本文は省略しています。

著作権の都合上，本文は省略しています。

著作権の都合上，本文は省略しています。

(辻村深月「この夏の星を見る」による)

問一 空欄 、、に入る言葉の組み合わせとして

最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- ① X にやりと Y きゅんと Z しやきんと
- ② X かかつと Y ぎゅつと Z がぼつと
- ③ X くすつと Y どんと Z さつそうと
- ④ X えへへと Y ざわつと Z ぐつたりと
- ⑤ X あははと Y ぞくつと Z ぐいつと

問二 「それ、クールっていうか……」の「……」に省略されていると考えられる

表現として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- ① 放送コンへの思いは誰にも負けないってことじゃないの
- ② グループLINEに書くんじゃなくて直接伝えてほしいよね
- ③ “コンクール”が合唱部だけだと思ってるのは視野が狭いね
- ④ 放送コンが中止になったのを合唱部のせいにしてるね
- ⑤ 合唱部に対して皮肉のつもりで言ったんじゃないの

問三 「亜紗はまた言葉に詰まる」とあるが、それはなぜか。その理由として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は

- ① 美琴が出るはずだった合唱コンクールに比べたら天文部の活動は遊びのよ
うなものであり、再開を気に掛けてくれるとは予想だにしていなかったから。
- ② 基本的に天文部の活動は屋外だが、望遠鏡作りは地学室でやる屋内作業の
ため今後どうなるかがわからないことを、美琴に言いそびれているから。
- ③ いっコロナが収まって学校が再開するのかもしれないのは誰にもわからないの
に、天文部の活動のことを聞かれても亜紗は答えようがなかったから。
- ④ 亜紗にとっては天文部の活動は遊びのようなものなのに、合唱部である美
琴が天文部の活動の再開を願ってくれていることに驚いたから。
- ⑤ 美琴の『あー、あー』の言い方が好きだということに気づき、その思いに
浸っている時に、ふいに天文部のことを尋ねられて戸惑いを覚えたから。

問四 「常識」とあるが、「常識」には表現上、どのような役割があると考
えられるか。その説明として最も適切なものを一つ選び、その番号をマーク
しなさい。解答番号は

- ① 常識と非常識の線引きが変わってしまった結果、常識という言葉そのもの
が消滅しそうになっていることを示す役割。
- ② 新たに生まれた常識は、自分たちができる地道でシニールな方法で力を合
わせて守っていく必要があることを示す役割。
- ③ コロナ禍によって新しい常識がたくさん生まれたが、それらが亜紗にとつ
ては納得できないものであることを示す役割。
- ④ 学生生活を送っている亜紗や美琴にとっての常識と、世間一般の常識には
ずれが生じていることを強調して示す役割。
- ⑤ 未曾有の事態によってこれまで常識とされてきたことが通用しなくなり、
新たに常識が生まれたことを示す役割。

問五 「会いたい、という言葉が、こんなに意味を持つようになるなんて」とある

が、このときの亜紗の心情として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 18

① 会いたいと言葉で伝えることに気恥ずかしさを覚えていたが、それを素直に口に出したくなる現状を嘆き悲しむ気持ち。

② 実際に会うことの大切さを実感し、簡単にコミュニケーションを取れるLINEのようなツールと距離を置きたい気持ち。

③ 友人に会うには学校に行く必要があると気づき、学校を勉強するだけの場所だと決めつけていた自分を反省する気持ち。

④ まさか人と会うことを避けるような世の中になるとは思っておらず、そうやって初めて会うことの重みを痛感する気持ち。

⑤ 友人をなぐさめるには直接目を見て気持ちを伝えるべきだが、コロナがいつ収束するかわからず、会うことの難しさを思い知る気持ち。

問六 亜紗の人物像として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 19

① 普段は無口で自分の気持ちを表に出すことはあまりないが、本当に大事なことははっきりと言葉に出して伝えようとする人物。

② その場で気の利いたことが言えない消極的な性格に劣等感を抱いているが、自分の信念を曲げることを嫌う芯の強い人物。

③ 自分自身も閉塞感の漂う日々で苦悩している中で、人の気持ちを思慮深く推察してその気持ちに寄りそうことができる人物。

④ 感受性が強く様々な可能性を考えるあまり感情的になってしまいう面がありいざというときは行動力があり頼もしい人物。

⑤ 全ての人が決められたことに従うしかない時勢の中で、自分たちだけを特別扱いする必要はないと考える謙虚で協調性のある人物。

問七

「普段は文章のやり取りが中心で、電話も「かけていい？」ってまずはLINEで聞いてくるはずの美琴が、急に電話してきた」とあるが、亜紗は急に美琴が電話をかけてきたのはなぜだと考えていますか、六十字以内で説明しなさい。解答は裏面の解答欄『第二問 問七』に記述すること。解答番号は 20

第三問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

科学コミュニケーションにおいて重要なのは「共感・共有」だけではありません。やはり、科学に対して何かを共感・共有してもらおうと思えば、科学の自身をある程度わかってもらう必要がありますし、わかってもらうためには、「情報伝達」の機能が必要です。ましてや、学校における教科教育においては、情報伝達が第一優先事項だと考えられています。ここからしばらく、伝達の対象である知識や概念のことについて考えてみることにしましょう。

ここまで、私たちの脳は意識できることだけではなく、無意識の機能が大きいことを示してきました。また、私たちが意識できることも、心像^{*}という言葉ににくいもので考えているのだということも指摘しました。ですがやはり、言語は人間の思考を考える上で圧倒的に重要な道具です。言語による思考によって、人類は高度な概念を生み出し、一般論や抽象化などといったことも行えるようになりました。

言葉をやつるのは人間にとって意識的な営みです。しかし、話し言葉と書き言葉では「意識的」の度合いが異なります。母国語の話し言葉は意識的と無意識的の中間に属すると言えるでしょう。私たちが日常で会話をする時、文法や活用はもちろん、単語の意味すら半ば無意識的に使っています。一方、書き言葉はそうはいきません。書き言葉については、私たちは意識的に作り出す必要があります。考えをきちんとまとめていないと書くことはできません。書いてみて初めて、自分がきちんとわかっていなかったことに気づくこともあります。小学生の頃の作文を思い出してみてください。話すように書くことなど、なかなかできなかつたのではないのでしょうか。話し上手が作文上手とも限りません。話し言葉に比べて、書き言葉は抽象度が一ランク上がると言ってもよいでしょう。おかげで、書くことによって思考の抽象度も上がります。文字の発明は、**B**も果たしたのです。

私たちの頭の中にあつたただの記憶の集まりは、言語の登場によって、概念というものに生まれ変わりました。**X**、概念同士を結びつける中から、論

理というものが生まれました。簡単な因果関係を理解することも「論理」というのであれば、人間だけでなく動物でも論理を用いています。ここでの論理とは、言葉による洗練された複雑な論理のことです。

一九二〇年代から三〇年代にかけて活躍したソ連の心理学者、レフ・ヴィゴツキーは、人間の概念を「**C**生活的概念」と「科学的概念」の二段階に分けました。

生活的概念とは、生活の中で身につけてゆく自然発生的な概念です。私たちが生きてゆく中で経験したこと、知覚したことをもとに、自然に形成されるものです。それは一般に感覚的で体系化されていません。「綿は軽い」「鉄は重い」「木は水に浮く」「石は水に沈む」といった、感じたり見たりした直接の経験に基づく単純な概念です。それらはいがいばらばらに存在しています。ばらばらに存在しているだけなので、論理的な矛盾があってもほとんど気づきません。

一方、科学的概念とは、教育によって習得する体系化された概念です。その基礎となるのは概念同士の結びつきです。論理的な関係や法則性や深い関連が、ばらばらだった概念同士を結合させて体系を作ります。そういった体系によって科学的概念が生まれます。「友情」「犠牲」「民主主義」などといった抽象的な概念も生まれてきます。

Y、子供に「一キログラムの綿と一キログラムの鉄ではどちらが重いか」という問題を出すと、間違えることがあります（言うまでもなく重さは同じです）。これは「重量」という科学的概念が形成されていないからです。**D**水に浮くものと沈むものの区別はさらに難しく、体積あたりの重量である「比重」という概念ができていないと答えられません（比重が水より重いものは沈み、軽いものは浮きます）。小学校高学年から中学校にかけて、こうした科学的概念の教育が本格的に始まります。と同時に、子供たちの勉強の得手不得手が明確に分かれ始めます。この科学的概念の形成をいかにうまく達成するかが、子供の学業習得に大きく影響してまいります。

勉強が得意な子供や自発的に勉強する子供は、ここをどう乗り切っているのでしょうか。これについては想像になってしまいますが、彼らは頭の中で上手にドラマを作っているのではないのでしょうか。何らかの形で世界観を形成しているの

だ、と言つてもよいと思います。それが概念の体系化のもとになっているのではないのでしょうか。そうだとすれば、理科教育や科学コミュニケーションにおいては、細かな内容よりも、世界観を語る事が重要ではないかと考えることができます。

言葉が生まれることによって直列の論理も登場しました。論理は後からやって来たのです。そして、人間のわかり方も、素朴で感覚的な直感から、論理的な理解へと変わっていきました。

論理的に正しいと認識すること、理屈に合っていると感ずること、これを「理解」と呼ぶことにします。私たちは精緻な論理を教育によって習得します。そして、なんとか習得できたとしましよう。すると、論理的に正しく展開された議論であれば、私たちは必ずわかるようになるのでしょうか。

とても長い理屈を聞かされていると、一つずつのステップを論理的に理解できても、最終的には何か腑に落ちず、だまされたような気になることがあります。その理由は、おそらく二つあります。

一つは、人間は長い論理を胡散臭く感じる傾向にあるということです。そもそも人間の脳は、生存のために進化してきたはずです。生き残るためには即座に反応しなくてはならず、長い時間をかけた思考を本来は嫌います。ですから、長い論理で努力を要求されると、生理的に拒絶が起きます。そして実際、長い論理は「E」式の間違いを犯していることが多く、それを経験しているがゆえに、ますます胡散臭さを感じてしまうのです。

ですが、科学においては途中の論理がいいかげんということとはほとんどありません。人間が感じる科学のわかりにくさは、別に理由があります。論理は概念同士を結びつけるためのものですが、概念自体が自分の頭の中で未完成である場合、私たちは「納得」できないからなのです。

まず、新しくやってきた心像は、自分の中にある記憶心像と照合されます。そして、何らかの形で同定や関係づけができた時、私たちの腑に落ちます。逆に、いくら理屈が合っている、記憶にない概念とは同定できませんから、その場合、私たちは腑に落ちません。論理的に理解することはできても、納得はできないの

です。

Z、「理解」によって「わかる」ためには、私たちは勉強しなくてはならないのです。勉強を経て、概念が十分にそろった後であれば、説明がつながっただけで「納得」がともない、「わかった!」となるのです。

(岸田一隆「科学コミュニケーション 理科の〈考え方〉をひらく」による)

【注】

* 心像：頭の中に浮かぶ、言語化する以前の漠然としたイメージ。

問一

空欄 X、Y、Z に入る言葉として最も適切なものを一つずつ選び、その番号をマークしなさい。同じ番号は二度使えません。

解答番号は X 21 Y 22 Z 23

- ① ないしは ② むしろ ③ そして
④ つまり ⑤ たとえば

問二

「話し言葉と書き言葉では『意識的』の度合いが異なります」とあるが、「話し言葉」と「書き言葉」の関係を説明したものととして最も適切なものを選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 24

- ① 話し言葉と異なり、母国語の書き言葉は書いてみて初めて言葉の意味を理解していないことに気づく。
② 書き言葉と異なり、母国語の話し言葉は文法や活用を全く意識しなくても用いることができる。
③ 母国語の話し言葉は半ば無自覚に用いられるが、書き言葉は客観的な内容になる。
④ 意識的に作り出す書き言葉に比べ、母国語で使う話し言葉は無意識ではあるが思考の観念水準が向上する。

問三 空欄 B に入る表現として最も適切なものを一つ選び、その番号を

マークしなさい。解答番号は 25

- ① 未完成な考えを抽象化するだけでなく、過去に形成された思考を習得できるといふ機能
- ② 他者に共感・共有を求めるときに根拠を示すといふ機能と、自分の世界観を形成するといふ機能
- ③ 感覚的な直感が不要となり、洗練された複雑な論理を駆使できるようになるといふ機能
- ④ 考えを記録に残すことができるといふ機能の他に、人間の概念を高度にするといふ機能

問四 C 「生活的概念」とあるが、その説明として適当でないものを一つ選び、その

番号をマークしなさい。解答番号は 26

- ① 論理的な矛盾があっても目を背けてしまうような、経験したことから自然に形成されるもの。
- ② 私たちが生きていく中で感じ取ったことをもとにして形成される感覚的なもの。
- ③ ボールを上投げたら落ちてくるという、経験したことに基づいて作られる単純なもの。
- ④ 意識的でなくとも生きていく中で自然と形成され、総体としてのまとまりをなしていないもの。

問五 D 「水に浮くものと沈むものの区別」とあるが、このことがわかるようになる

ために必要なことは何か。その説明として最も適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 27

- ① ばらばらだった重量と比重の概念同士を結合させて、論理的な関係や法則性を感覚的に説明できること。
- ② 自分の記憶の中にある重量と新しくやってきた比重の概念とを同定させて、言葉によって説明できること。
- ③ 教育によって習得する体系化された概念が形成されていて、重量と比重の科学的概念ができていること。
- ④ 科学的概念の教育の本格的な開始前から自発的に勉強し、不得手でも概念の体系化を習得していること。

問六 空欄 E に入る表現として最も適切なものを一つ選び、その番号を

マークしなさい。解答番号は 28

- ① 風が吹けば桶屋おけやがもうかる
- ② 禍福はあざなえる縄のごとし
- ③ 坊主憎ぼうずけりや袈裟けさまで憎い
- ④ 学まなびて思おもわざれば則すなわち罔くらし

問七 人が納得するのはどのような時か。筆者の考えに沿って四十字以内で分か

りやすく説明しなさい。解答は裏面の解答欄『第三問 問七』に記述すること。解答番号は 29

〈問題は次ページへつづく〉

第四問 次の〈文章〉の古文と、それに対する〈会話文〉を読んで、後の問いに答えなさい。

〈文章〉

ある者、所の前を、春のころ、修行者しゆぎやうじやのふしぎなるが通りけるが、檜笠ひがさに梅の花を一枝さしたりけるを、児ちこども、法師ほふしなど、あまたありけるが、よにをかしげに思ひて、ある児の、「梅の花笠きたる御房」と言ひて笑ひたりければ、この修行者、立ち返りて、袖をかき合はせて、^{*2}ゑみゑみと笑ひて、

「身のうさの隠れざりける物ゆゑに梅の花笠きたる御坊^{*3}

と仰おほせられさうらふやらん」と言ひたりければ、この者ども、「こはいかに」と、思はずに思ひて、言ひやりたるかたもなくぞありける。

さうなく人を笑ふ事、あるべくもなき事にや。

(「今物語」による)

【注】

*1・3 御房・御坊：お坊さんの敬称。

*2 ゑみゑみと：にやにやと笑みを浮かべるさま。

〈会話文〉

Xさん 質問なのですが、これは修行者には人目をひく風変わりなところがあつたということでしょうか。

Yさん そうですね。【A】ところがそうです。

Xさん しかし、その修行者が実は【B】であることを皆知ることになつたという話ですよ。結局のところ、この話は何を伝えているのでしょうか。

Yさん この話は【C】という戒めを伝えているのです。「さうなく人を笑ふ事、あるべくもなき事にや」から、それがわかりますよ。

問一 「さうらふ」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで書きなさい。解答は裏面の解答欄『第四問 問一』に記述すること。解答番号は 30

問二 空欄【A】に入る言葉として最も適切なものを一つ選び、その番号を

マークしなさい。解答番号は 31

- ① きよるきよるしている
- ② 檜笠に梅の花がついている
- ③ にやにやと笑っている
- ④ 季節外れの恰好かっこうをしている

問三 空欄【B】に入る言葉として最も適切なものを一つ選び、その番号を

マークしなさい。解答番号は 32

- ① どんなどきでも人を楽しませるような遊び心のある人物
- ② 受け答えに和歌を用いることができる教養ある人物
- ③ 人から変だと指摘されても動じない信心深い人物
- ④ 言われた言葉を和歌に組み込んで反論する知的な人物

問四 空欄【C】に入る言葉として最も適切なものを一つ選び、その番号を

マークしなさい。解答番号は 33

- ① その場の雰囲気ふんいきに流されて自分自身を見失つてはいけない
- ② 人が純粹じゆんじゆんに心から信じているものを軽んじてはいけない
- ③ 経験を積んできた年長者には敬意を払わなければならない
- ④ 人を見た目で判断して本質を見ずにあなどるのはいけない

国語（A日程）

大問	小問	枝問	解答番号	解答	指定
第一問	問一	(1)	1	清廉	
		(2)	2	凝（らし）	
		(3)	3	露呈	
		(4)	4	そこ（ねる）	
		(5)	5	ようさん	
		(6)	6	じゅんしゅ	
	問二		7	④	
	問三		8	③	
	問四	(1)	9	①	
		(2)	10	③	
		(3)	11	②	
		(4)	12	②	
		(5)	13	④	
第二問	問一		14	②	
	問二		15	⑤	
	問三		16	①	
	問四		17	⑤	
	問五		18	④	
	問六		19	③	
	問七		20	コンクールが中止になってものすごく落ち込み、亜紗と電話で直接言葉を交わすことによって、自分自身を納得させたかったから。	
第三問	問一	X	21	③	
		Y	22	⑤	
		Z	23	④	
	問二		24	③	
	問三		25	④	
	問四		26	①	
	問五		27	③	
	問六		28	①	
問七		29	新しくやってきた心像が自分の中で完成している記憶心像と関係づけられた時。		
第四問	問一		30	そうろう	
	問二		31	②	
	問三		32	②	
	問四		33	④	